

ICTを活用した授業づくりに関する取組

北海道夕張高等学校

(取組のポイント)

ICTの校務系での利用を進め、全教員のICT機器の利用頻度を上げ、苦手意識を低減するとともに、苦手意識の少ない教員が先行して授業でのICT活用を進め、その活用法を校内研修会等で共有することにより、全教員の意識改革とICT活用指導力の向上を目指した取組

取組に当たっての課題意識

- ICT機器を利用する頻度を上げ、ICTへの苦手意識の低減すること
- 授業や行事でのICT活用について、教員の意識付けを行うこと

具体の取組例	事業との関連等
<ul style="list-style-type: none"> ○ 校内組織の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・情報教育委員会を、ICT推進の中心組織として「ICT委員会」に変更 ○ ICT委員会を中心とした取組 <ul style="list-style-type: none"> ・石狩管内私立高校へのICT視察研修（全教員） ・夕張市内小中高連携のICT研修会実施 ・タブレットの初期設定（wi-fi設定含む）、導入アプリの検討、利用規約などの書類作成 ・Googleアカウントの準備、Google Classroomの作成等 ・簡易マニュアルの作成、生徒向けガイダンス実施 ・朝の連絡票、会議資料、授業評価等の電子化 ○ ICTを活用した授業づくり <ul style="list-style-type: none"> ・公開授業週間における教員間授業参観 ・生徒からのICT活用に向けた意見聴取 ・数学科において道立教育研究所プロジェクト研修に参加 ・校内研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> 【内容】 ア ICT活用に向けた製品の活用方法紹介 イ Google Jamboard等の活用実践 ウ ICT機器を活用した「主体的・対話的で深い学び」の授業実践 <ul style="list-style-type: none"> (ア) 学習課題の事前配布 (イ) タブレットを活用した発表及び意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・札幌市内私立高校による協力・助言 ・夕張市内学校間連携 ・夕張市によるタブレット貸借の支援 ・道立教育研究所から指導・助言 ・内田洋行による講演・情報提供

課題解決に向けたプロセス



取組の成果

- 教員の意識改革が見られ、ICTを積極的かつ効率的に活用する体制ができた。
- 授業や行事等において教員と生徒が共に効果的なICTの活用について考えるようになった。